

生徒の活躍（模擬裁判選手権）

令和 6 年 9 月 3 日

日本弁護士連合会が主催する「第 17 回高校生模擬裁判選手権 関西大会」が、8 月 3 日（土）に大阪地方裁判所で開催されました。関西地区の高校 20 校が参加し、本校からは、1, 2 年生の有志 14 名が出場し、見事に「午前の部」準優勝を受賞しました。（優勝は立命館宇治高校）

殺人事件の裁判の中で、本校は被告の弁護側、検察側の神戸女学院高校と対戦しました。検察、弁護側それぞれ 15 分間の質問のあと、検察側の主張を受けて弁護側が最終弁論を行いました。本校生は証人の証言の信憑性を崩しつつ、4 つの観点から被告人の犯行の可能性や別人物による犯行の可能性を指摘しながら弁護した結果、主張方法の的確さが高く評価されての準優勝でした。

大会出場に際しては、事前情報を読み込み、矛盾を見つけ出し、論理の正確性を何度も議論しました。さらに、裁判で新証言が出てくる展開を予想して準備することも必要となりました。また、裁判では誰もが論理的に納得できる主張を淀みなく行わなければなりません。練習を重ね、弁護士の方の意見も参考にして裁判に挑み、勝訴を得ました。普段の授業では学ぶことができない準備の大切さや論理的な思考とその表現など、とても良い経験ができました。これからもこの挑戦を続けてもらいたいものです。

